

<重点目標>【地域課題】

資料1-5

包括名	サンレジデンス湘南		課題番号	ア、イ		
1 中期目標 (令和8年度の目指す姿)		①地域課題解決のための目標を地域の方と一緒に考えられる。②今ある生活支援を含めた地域活動の継続ができる。③高齢者と若い世代が地域課題を話し合う場ができている。				
2 地域課題			3 地域課題の選定理由		4 地域の現状	
地域活動を担う方の高齢化や後継者の減少があり、近隣とのつながりも稀薄化している。また、今後地域の見守りや地域活動が十分に行えなくなることが予測される。そのため、様々な世代が地域課題を共有していけるような仕組みが必要となる。			今まで包括が関わっていない団体と、地域の強みや課題について共有する機会がなく、包括の役割を伝えられていない。そのため、地域全体として課題を検討していくことで、次世代につなぐきっかけを作る必要があるため。		・地域から、これ以上活動を増やすのは大変という声があがっている。 ・生活支援に関して、新規の受入れを行なっていない地区があるが、現在行えている活動は継続できている。 ・地域で検討すべきことについて、地域全体で共有する機会がない。 ・地域活動を担う方、特に若い世代の関わりが少なくなっている。 ・築50年の大型団地や築30年以上の大型マンションが多く見られ高齢化が進んでいる。 ・大型ショッピングモールを中心に地域や学校との交流がある。	
5 実施計画						
	(1) 短期目標 (年度ごとの目指す姿)		(2) 取組予定		(3) 予定時期	
令和7年度	地域活動を行う上で地域の担い手不足解決のため、地域の方と一緒に考える。		1. 民生委員、福祉村、市、自治会などから、地域の集まりの場の情報を収集する。 2. 情報収集した地域の集まりの場の情報を一覧にする。 3. 今まで参加していなかった地域の集まりに参加し包括の周知を行い、地域活動について情報発信する。 4. それぞれの集まりの場でわかりやすいような包括の案内を作成し、配布する。 5. 地域課題の解決に向けて協力できる団体について関わり方を検討する。		1. 4月～3月 2. 9月 3. 4月～3月 4. 4月～3月 5. 4月～3月	
令和8年度	様々な世代が参加し、地域課題について話し合える場がある。 ・協力できる団体の集まりに参加している。 ・小地域ケア会議を各地区で行なう。		1. 各地区で小地域ケア会議を開催する。 2. 今まで関わりがない団体の集まりに参加する。 3. 地域課題について、包括と地域で共有できていて意見交換をする。			
6 実施経過						
令和7年度 前期	取組 予定	① 前期の実施結果	② 前期の振り返り		③ 前期の振り返りを踏まえた後期の取組予定	
					時期	取組予定
	1	・例年実施されている活動内容でも、各団体にどのような年代が関わっているか、開催目的や特色などを意識し把握できるようにした。 ・公民館、福祉村から活動している内容について日時、場所、活動内容を情報収集し、挨拶や参加をして把握につとめ、多世代が集まる活動にはどのようなものがあるのかを知ることができた。 ・通いの場（サロン）に包括職員が参加することで、地域の困り事につながる情報収集ができた。 ・地域のサロンに参加し、また協議体・小地域ケア会議で地域の集まりの場について実施状況や課題を確認した。 ・民生委員、地区社協、福祉村の定例会に参加することで、包括がとらえている課題と地域がとらえている課題について共有し、田村地区では協議体や小地域ケア会議につなげることができた。	・職員間での情報共有が不足していたため、職員全員で情報共有を図るとともに、地域の方に何を伝えるのかを検討する。 ・3地区全てではなく、1地区を選定して実施する。 ・地域活動の担い手になってくれそうな方に話をしたり、誰がどのように地域活動に関わっているのかを意識するようになった。		随時	・引き続き前期同様に情報収集を継続する。 ・地域の担い手や活動できなくなっているものがあるか、またそれによりどのような影響がでているのか、協議体や小地域ケア会議で把握する。
	2	地域活動を継続するために、どのように一覧があったらいいのかについて検討が必要であることを包括内で話し合った。どのような形式で一覧表を作成するのか決定していなかったため、一覧表の作成までは至っていない。	・それぞれが、把握しようとして同じことをしている場合もあり、役割分担が必要。 ・それぞれの職員が持っている情報をまとめられていないため、地域資源として活動している場について共有できていない。		随時	・今ある情報を利用して、エクセルで一覧表を作成する（1地区）。
	3	・今まで参加していない地域活動やイベントに参加した。 ・地域の活動に参加できており、包括を知ってもらうための情報発信として、包括が行っている活動の紹介をしている。（サロンや講座等）があり、できるだけ参加することで関係構築につなげている。 ・3地区の地域活動（定例で実施されているサロン：11箇所、地域のイベント：8箇所）に参加していて、関係性を継続して保つことができている。	・地域の活動について記載ができる書面を作成し、職員間で情報共有ができるものを作成する必要がある。 ・地域包括支援センターの周知が十分ではないことがわかったため、今後も継続して地域活動に参加して、包括の役割を伝える必要がある。 ・今まで参加していなかった活動に参加することで関係性の構築につなげた。また、今ある地域活動に参加することで関係性を保つことができた。		随時	・今まで参加していなかった地域の集まりの中で参加者が多いところを重点的に参加し包括の周知を行うことで、地域資源の発掘につなげる。 ・3地区のイベントや行事に参加することで関係構築を図る。 ・地域活動について見える化できるものを作成する。 ・業務の中で効率的に情報収集するための方法を検討する。
	4	・包括の案内は定期的に情報発信している。 ・定期的なオレンジ通信の他、臨時に熱中症についての情報発信などをそれぞれの集まりの場で発信している。	地域のサロンやイベントで、オレンジ通信を見たと聞くことがあり、周知活動につながっているため、今後も継続する。		随時	・後期も継続する。 ・後期には公民館祭りも予定されており、子供向けの案内を作成するなどの検討が必要である。
5		地域課題の解決に向けて、地域のニーズと活動を行っている団体の把握が必要となることを再度話しあった。	・関わりが困難なケースに対し、近隣の店舗や団体にどのように協力いただけるか早い段階で関わりを検討しても良かった。 ・地域のニーズを知るために、地域ケア会議の開催を検討する必要がある。		随時	・地域の関係機関と関係性を築くため来年度交流会を予定しているが、そこに参加してもらう関係機関をピックアップする。 ・地域活動を担う団体として活動してもらえるように挨拶を継続して行う。 ・小地域ケア会議を開催し、地域のニーズや課題を話し合う。

	取組 予定	① 令和7年度の取組予定の実施結果		
令和7年度 (年間)	1	・地域サロンやイベントで、どのような年代が参加しているのか、どのような目的で開催されているのかを意識して情報収集を行うことで、活動状況を把握することができた。 ・田村地区の活動における課題について、協議体や小地域会議から情報収集をして、今後の検討事項を確認することができた。また、包括がとらえている地域の課題を地域の方に伝えることができた。 ・地域の担い手が減少していることで、今までできていた生活支援が難しくなっている現状から、支援が必要となる前の早い段階で相談できる体制を構築する必要があることを包括内で共通認識として共有した。		
	2	・田村地区の地域サロンの一覧を作成した。		
	3	・地域のイベントやサロンに参加することで、包括の周知を行った。 ・今まで参加していなかった地区の公民館祭りに参加したり、こども食堂との関係性を作ることで、新たなつながりを作った。 ・より早期に相談ができるよう、今ある関係性を維持し、包括の活動について理解を得た。		
	4	・包括の活動を発信するため、オレンジ通信やホームページ、地域サロンで包括の案内を配布した。 ・令和8年度に配布できるよう、配布先がよりわかりやすいと感じるような包括の案内を作成した。		
	5	・地域の課題とニーズ、活動団体について、地域と共有できるよう田村地区で小地域ケア会議を実施した。 ・田村地区の小地域ケア会議に参加する団体が1団体増えたため、地域課題が関係機関で共有できるように継続して小地域ケア会議を行う必要があることを地域の方と話し合った。		
	③令和7年度の振り返り（短期目標の達成状況・令和8年度に向けての改善点など）			
	包括に入る相談内容として、地域での生活が困難になってから相談がくることが増えていて、地域では対応が困難な状況になるケースが多いことを包括内で共有した。 短期目標に「担い手不足解決のため地域の方と一緒に考える」ことを挙げたが、生活が困難になる前の早い段階で相談機関につなげることがより重要となると考えた。 そのため、地域でのつながりや見守り体制を強化し、早い段階で相談ができるように包括の周知を行い、地域でのつながりや見守り体制構築にむけた話し合いを行えるようにする。			
	④中期目標達成に向けた計画の進捗状況について			
	おおむね順調			
7 令和8年度修正更後の短期目標及び取組予定				
	(1) 短期目標（年度ごとの目指す姿）（変更がない場合には記入の必要はありません）		(2) 取組予定（変更・修正がない場合にも記入してください。）	(3) 予定時期
	認知症になってからの相談が増えているため、地域の方とのつながりや見守りで、「少し気になる変化」に早い段階から気付くことができる。		1. 店舗向けのMCIの案内チラシを作成し配布する。 2. 田村地区の協議体に参加し、年2回小地域ケア会議を開催する。 3. 地域で活動して下さっている方の交流会を年1回開催する。	1. 4～3月 2. 6月、12月 3. 1月
8 令和8年度 短期目標修正理由				
認知症の相談が増えており、より早期の段階で相談につなげられるようにするため				
9 令和8年度 取組予定修正理由				
短期目標を修正したため。 問題が複雑化する前の段階でより早期に相談ができるような体制構築できるように、地域の方にもMCIを知ってもらい、早めに相談につなげるため。				